

株式会社ギガプライズ
2023年3月期 通期 決算説明会 質疑応答（要旨）
（2023年5月18日開催）

当決算説明会における主な質疑応答の要旨は、以下の通りです。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、加筆修正しております。

Q. 1	ISP サービス提供戸数予想の純増数を前期 15 万戸から今期 16 万戸に引き上げた要因について教えてください。
A. 1	シェア向上のために、改めて営業体制を強化していきます。主要顧客である OEM 提供先企業様との関係強化はもちろんのこと、マンション管理会社様と取り組んでいる中規模・大規模物件の獲得に注力することで、今期 16 万戸を目指してまいります。
Q. 2	ISP サービス提供戸数の純増数 15 万戸前後を維持していけるのか見通しについて教えてください。
A. 2	営業体制の強化により、既存の OEM 提供先企業からの受注に加え、と不動産事業における提携企業様との連携強化など、新たな顧客の獲得に向けて注力し、獲得戸数を維持できるよう努めてまいります。
Q. 3	棚卸資産評価損が 2.35 億円計上されていますが、内容について教えてください。
A. 3	一部の通信機器を対象としており、金額は当社会計方針に従い計上しております。
Q. 4	減価償却費が 1.48 億円減少していますが、内容と見通しについて教えてください。
A. 4	リース資産として計上していた通信機器の減価償却期間の満了に伴い減少しております。現在は自己資金で調達しておりますので、当面の間は従前締結したリース契約の満了に伴い、減価償却費は減少する見込みであります。
Q. 5	業績予想に対する費用の内訳について教えてください。
A. 5	提供戸数増加に伴う保守費用の増加分や、原材料の高騰等による機器原価の上昇リスクに対しての費用を今期予算に反映しております。 また、中規模・大規模集合住宅やロングテールの不動産会社獲得に向けた営業リソースの拡充や、全社の体制強化の費用も予算として見込んでおります。